

青井記念館美術館

はぐくみ会だより

第 19 号

平成17年 4月 1日



収蔵作品紹介

(18)

「聖観音像（木彫）」

村上 丙 人 作

青井忠三郎氏来館・

美術館モニュメントサイン

除幕式

10月15日(金)

110周年記念式典の一環として、美術館モニュメントサインの除幕式が行われました。

関係者の見守る中、ブラスバンドの演奏に合わせ、青井忠三郎氏はじめ、学校長、同窓会長、生徒代表が除幕を行い、美術館の新しい顔として、現代的なモニュメントの誕生を祝いました。



左より生徒代表、学校長、同窓会長、青井忠三郎氏

常設展Ⅲ期

12月25日(土)～2月20日(日)

「洋画・彫刻・金工・デザイン」展

洋画・彫刻・金工・デザインの作品で80点展示。洋画「ラピスのイコン(藤森兼明・S29卒)」などの個性豊かな作品と、伝統工芸の優れた技法の作品がほどよく調和された展示となりました。



収蔵作品紹介

(18)

表紙

「聖観音像(木彫)」

村上丙 人作

小さな作品で、高さ27×7.5×8cmの木彫である。高度な技術により、心を刻む造形として表現され、法隆寺の夢殿観音を思わせるすばらしい作品である。シンメトリー(左右対称)の形で、佛像の静かな深い祈りの心が感じられ、彫刻刀のタッチが少なく、美しい作品である。

作者紹介

大正5年、高岡市佐野・真宗寺で生まれた。村上丙(あきら)のちに丙人(へいじん)と称する。

昭和8年本校木彫科卒業。17歳のとき木彫家・平櫛田中氏に入門する。彫刻の制作を始め、院展に出品、入選する。昭和34年に脱会し、のちに二紀会に所属。文部大臣賞、他多数受賞。評議委員として活躍する。平成9年死去。

第十一回青井中美展

11月24日(水)～12月7日(火)

絵画、彫刻、工芸、デザインの4部門に県内62校の中学校から選抜された991点の応募のうち、厳しい審査を経て選ばれた、入賞を含む341点が展示されました。

最高賞の青井大賞に選ばれた佐賀一仁君の彫刻「異次元のチヨウ」は、自然の素材の形や特性を生かし、金属的な着色もマツチして存在感の強い秀作。

高木由貴さんの絵画「ヤマネーランド」は、色彩の豊かさや動きのある空間が印象的な力作と、審査員からも好感を持たれた作品です。

山根明美さんの「世界は今」は、戦争をテーマに、見る人が移動することで変化する三面立体ポスター。メッセージ



表彰式

常設展Ⅳ期

3月12日(土)～4月6日(水)

「絵画・彫刻・工芸」展

これまで出品されなかった作品、特に絵画では色紙を12点展示。ドラえもん、パーマンなど、生徒たちも楽しんで鑑賞していました。彫刻では、畑正吉氏の能関係の木彫作品に人気が集まりました。「能額清経」は、優れた彫りに着彩を施し、人物の動きや緊張感を感じる作品。



尚美展関連作品展

10月10日(日)～10月24日(日)

本校創立110周年記念式典開催に伴い、生徒・同窓生の方々を始め、多くの来館者を迎えることができました。常設展では、近年あらたに寄贈いただいた作品7点を紹介、同窓生作品展では、現役で活躍中の同窓生、教職員29名が、絵画、彫刻、工芸、写真などあわせて37点を展示。

尚美展期間中は生徒が交代で受付を担当し、館内を案内するなどにぎやかな場面が見られました。

受付当番、生徒活躍



来館者に館長より作品説明



性の強い労作に来館者の関心を寄せていました。

今年は、全体的に基本を踏まえた質の高い作品や迫力ある大作が多く、昨年を大きく上回る激戦となりました。開催日の表彰式後、館内で審査員による講評会が行われ、出品者は各自の作品評を熱心に聞き入っていました。



審査員より作品講評会



高木 由貴



佐賀 一仁



山根 明美



余川めぐみ

各受賞者

青井大	佐賀一仁	(志貴野)
富山県知事賞	高木由貴	(大谷)
富山県教育委員会教育長賞	山根明美	(志貴野)
最優秀賞	余川めぐみ	(氷見南部)
優秀賞	串田麻由美	(芳野)
富山新聞社優秀賞	山下麻湖	(志貴野)
チューリップテレビ優秀賞	塚原知子	(新湊西部)
優秀賞	古川千尋	(滑川)
優秀賞	正和朗実	(井口)
富山新聞社優良賞	杉森千種	(高岡西部)
富山新聞社優良賞	新開康平	(牧野)
チューリップテレビ優良賞	平井沙也香	(庄西)
チューリップテレビ優良賞	天野佐衣子	(高陵)
佳作	福田美穂	(氷見北部)
佳作	若林彩花	(志貴野)
佳作	八島あずさ	(射北)
佳作	高柳美樹	(西條)
佳作	滝谷美紗子	(庄川)
佳作	中西真希	(新湊南部)
佳作	福嶋琢	(滑川)
佳作	高瀬加菜子	(氷見西部)
佳作	栗山千佳	(吉江)
佳作	西野剛志	(高志養護)

卒業課題展

全学科(6学科・90作品)のうち美術館では、建築科、工芸科、デザイン科の卒業課題作品を展示しました。悪天候にも関わらず、生徒、父兄はじめ美術愛好家の方々が大勢来館されました。なかでも工芸科の作品は実用的な大作が多く、親しみやすいことから、子供らに楽しめる展示会となりました。



催事案内

高岡市民美術展・招待作品の展示

4月20日(木)～5月5日(木)

常設Ⅰ期 本校収蔵品の展示

「日本画・工芸品」

5月14日(土)～7月24日(日)

文化部合同展

7月9日(土)～7月24日(日)

富山県立近代美術館・

青井記念館美術館所蔵作品展

8月4日(木)～9月4日(日)

常設Ⅱ期 本校所蔵品の展示

「絵画と漆工芸」

9月15日(木)～11月6日(日)

第35回同窓生ギャラリー

「佐竹美保 原画展(挿絵と絵本)」

5月21日(土)～6月12日(日)

第36回同窓生ギャラリー

「三人展」

麻生三郎・代谷松男・道吉勝重展」

9月15日(木)～10月6日(木)

はぐくみ会会員募集のおしらせ

はぐくみ会では会員を募集しています。申し込みは日付から一年間会員となります。

主な活動

- 1 青井記念館美術館への協力・支援
- 2 中学生美術展(青井中美展)への支援

特典

- 1 企画展等の案内
- 2 はぐくみ会だよりの配布

年会費

一般会員(個人)

二,〇〇〇円

特別会員(企業、団体等)

一〇,〇〇〇円

お問い合わせ・申し込み先

青井記念館美術館はぐくみ会事務局

編集後記

3年間、お世話になりました。ありがとうございました。

多くの方々に指導いただきながら勤めることができました。

これからも愛好家の皆様に親しまれる美術館でありますように。

(川原)

編集発行

富山県立高岡工芸高等学校

青井記念館美術館はぐくみ会

住所 933-8518 高岡市中川一丁目二〇

TEL (0766) 211-6300

FAX (0766) 211-6311